

広報 いんざい

特別号

平成 27 年 4 月 11 日発行

発行：印西市 編集：広報広聴課広報広聴班
〒270-1396 印西市大森 2364-2 電話 0476 @ 5111 内 FAX 0476 @ 7242
ホームページ <http://www.city.inzai.lg.jp/> Eメール home@city.inzai.lg.jp

IOCと3競技の国際団体幹部

五輪誘致に協力約束

板倉市長、ローザンヌなど訪問

市長は3月末、9日間の日程でスイスとドイツを訪れ、IOC（国際オリンピック委員会）本部などを訪問し、2020年東京オリンピックの競技場、事前キャンプ地について、意見交換を行いました。IOCと3つの国際競技団体は、市長の熱意に対し、印西市の誘致活動に協力することを約束しました。

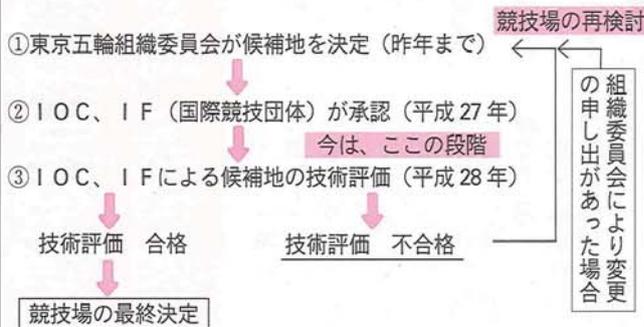
▲ドイツ・ミュンヘンにて国際射撃連盟事務局長（左）と会談



市長は、3月25日にスイスのローザンヌにあるIOC本部、国際ホート連盟本部、国際カヌー連盟本部を訪問。26日には、ドイツのミュンヘンに足を伸ばし、国際射撃連盟本部を訪問しました。同行した山本清・印西市議会議員が英語・ドイツ語の通訳をし、ホート・カヌー競技の誘致を予定している印旛沼の地

元に住む馬場広・印西市商工会理事も同行しました。オリンピック誘致関連予算は3月議会で否決されました。今回のプロモーション費用は3人の私費でまかなわれました。市長が今年1月に表明した「印旛沼の水辺開発 百年の計」に書かれているように、市では今後、印旛沼沿岸を水上スポーツの拠点として開発し、アスリートの強化の場、市民の憩いの場にしていく考えです。そのような開発が進めば、さまざまな水上スポーツの世界大会、アジア大会、全日本規模の大会を誘致できることとなります。（ウラ面に続く）

◎東京五輪競技場決定のプロセス◎ 【フロー図】



◎事前キャンプ地決定のプロセス◎

- ①東京五輪組織委員会の説明会（平成27年2月～3月）
- ②自治体が組織委員会に応募（平成27年3月～平成30年7月）
- ③日本国内でキャンプを予定しているチームが、それぞれキャンプ地を決定

※上記のルート以外でも、NF（国内競技団体）経由で誘致する、自治体が独自に交渉して誘致する、というルートがある。組織委員会以外のルートで誘致する場合は、スケジュールは決まっていない。

◎水上スポーツ拠点誘致のプロセス◎

スケジュールは決まっていない。